

の南九州 議会だより

第 18 号
平成24年 5月7日発行

MINAMIKYUSHU CITY



樹勢が回復した知覧平和公園の桜

24年度当初予算335億円	2
予算の審査から	4
23年度一般会計補正予算 6億2755万円	8
条例の改正、陳情・請願	10
一般質問・14人が登壇	12
市民の声	20

平成24年度 当初予算可決

一般会計歳出 208億3千万円

平成24年度当初予算 一般会計歳出

区分	H24予算額(千円)	H23予算額(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
1 議会費	193,468	226,560	△ 33,092	△ 14.6
2 総務費	2,485,201	2,501,671	△ 16,470	△ 0.7
3 民生費	6,145,276	6,070,874	74,402	1.2
4 衛生費	2,397,251	1,872,411	524,840	28.0
5 農林水産業費	1,748,227	1,427,271	320,956	22.5
6 商工費	227,267	228,703	△ 1,436	△ 0.6
7 土木費	1,887,011	1,605,611	281,400	17.5
8 消防費	1,066,831	769,865	296,966	38.6
9 教育費	2,183,642	3,297,242	△ 1,113,600	△ 33.8
10 災害復旧費	1,784	1,784	0	0.0
11 公債費	2,367,169	2,566,026	△ 198,857	△ 7.7
12 諸支出金	116,873	76,982	39,891	51.8
13 予備費	10,000	10,000	0	0.0
歳出合計	20,830,000	20,655,000	175,000	0.8

3月定例会

平成24年第1回定例会は2月21日に招集され3月23日までの32日間の会期で行われました。
平成23年度補正予算及び平成24年度当初予算などが審議され議案36件、請願2件、陳情2件及び意見書提出4件が可決されました。

一般会計の主な事業内容

第1次南九州市総合計画に基づいた予算が提案され、議会は住民主体の立場に立って市の具体的政策を決定しました。

議会費

○市議会議員費

1億4589万9千円

議員の報酬及び費用弁償、共済費など。

民生費

○障害者自立支援給付事業費

7億3226万円

障害者等が必要とするサービスの利用に要する扶助費など。

衛生費

○子ども医療費助成事業費

1億595万4千円

0歳から中学生までの医療費助成に要する扶助費など。

○不快害虫対策費

2876万5千円

不快害虫ヤンバルトサカヤスデの駆除及び蔓延防止、生息地拡大を抑制するための経費。

総務費

○自治会関係費

1億5459万2千円

行政嘱託員報酬、自治会集会施設等整備事業補助金など。

○新子ども手当支給事業費

5億9906万4千円

中学生までの子どもを対象にした手当支給に要する扶助費など。

○放送施設整備費

5300万円

自治会の放送設備に対する助成金。

○保育対策等促進事業費

5479万8千円

延長保育のニーズに対応するため私立保育園(所)が開所時間を延長し運営することに対する補助金。

○地域交通対策事業費

6206万円

コミュニティバス(ひまわりバス)や生活交通路線確保のための補助金など。



対応に苦慮しているヤンバルトサカヤスデ

※薬剤の購入方法については、市報4月号に掲載しています。

農林水産業費

○活動火山周辺地域防災
営農対策事業（茶業）
1億6814万4千円

桜島の降灰除去を行うための降灰除去施設整備に対する補助金。

○茶流通拠点施設整備推進事業費
1億64万4千円

お茶の振興法に沿った茶業の振興方策の研究事業に取り組む経費。

○基盤整備促進事業費
1億4149万5千円

農道・水路等の整備、土層改良等を図るための工事請負費など。

商工費

○商工総務費（一般経費）
4790万3千円

商工業振興のための空き店舗活用補助金やプレミアム付き商品券発行事業等への補助金など。

○川辺仏壇振興費
612万4千円

川辺仏壇の産業振興のための販路拡大補助金や後継者への貸付金など。

○夢・風の里アグリランド管理運営費
6033万2千円

施設の修繕料や指定管理者への委託料など。



サー、茶つみの始まりだ

土木費

○道路維持費

2億4485万4千円

市道等の維持管理及び局部的な改良・舗装を行う工事請負費など。

○市道単独整備事業費

4億1178万1千円

春向谷場線ほか17路線の市道改良・路盤整備を行う工事請負費など。

○社会資本整備総合交付金（地域住宅支援）事業費

1億1684万6千円

市営住宅を整備・改修し、住環境の整備を図るための工事請負費など。

消防費

○広域消防組合費

6億692万9千円

南薩地区消防組合、指宿地区消防組合への負担金。

○消防施設費（一般経費）

8422万9千円

消防水利や施設・資機材などの整備のための備品購入費など。

○災害対策費

2億7581万5千円

防災無線のデジタル化整備（頰娃地域の施設整備）の工事請負費など。



老朽化した防火水槽

教育費

○学校施設環境改善交付金事業費

2億4571万2千円

校舎大規模改造に係る工事請負費など。

・宮脇小学校

1357万2千円

校舎大規模改造のための実施設計業務委託料。

○スクールバス運行経費

2644万8千円

川辺中学校及び知覧中学校の通学バス運行業務

委託料。

○埋蔵文化財発掘調査事業費

385万2千円

九州電力送電線鉄塔新設工事に伴う川辺町堂園遺跡・古殿諏訪古陣跡の発掘調査のための委託料など。

○給食センター管理運営費（一般経費）

1億6095万7千円

学校給食センターの運営、維持管理に要する委託料など。



改造工事が始まった松山小学校

安全でうるおいのある生活環境づくり

◆総務常任委員会の審査◆

住民の安全 安心を守る

●放送施設整備費

自治会内の伝達システムである放送設備整備に対する助成。アナログ簡易無線が平成34年12月から使用できなくなるため年次的に更新を推進していくものである。

●消防施設整備費

防災活動に必要な消防車、小型動力ポンプ積載車の更新や防火水槽の新設などである。

～審査の中で～

消防施設等の整備にあたっては、不足している施設や箇所について、各自治会等と協議し消防力の充足に努めるようとの

●バス対策事業費

交通弱者の利便性、福祉の向上を図るため、ひまわりバスや生活交通路線バスなど、交通手段の確保を図る。

～審査の中で～

問 23年度と比較し減額となったことについては。

答 鹿児島交通の鏡石湯から枕崎高校前までの路線バスの補助金が23年度で終了したことによる。

●平和会館管理費

世界恒久の平和に寄与するために適正な管理運営を行う。

～審査の中で～

観覧客が安全かつ快適に観覧できるように、施設の構造的な問題はないか精査するようとの意見

が出された。

●川辺仏壇振興費

川辺仏壇は地域の主要な産業の一つであり、仏壇産業後継者育成制度の拡充、工芸品創作技術コンクールの開催や販路対策事業に要するものである。

●あかりの道標イベント事業費

市内各地や自治会等が主催するイベントに紙灯笼やろうそくなどを提供するものである。

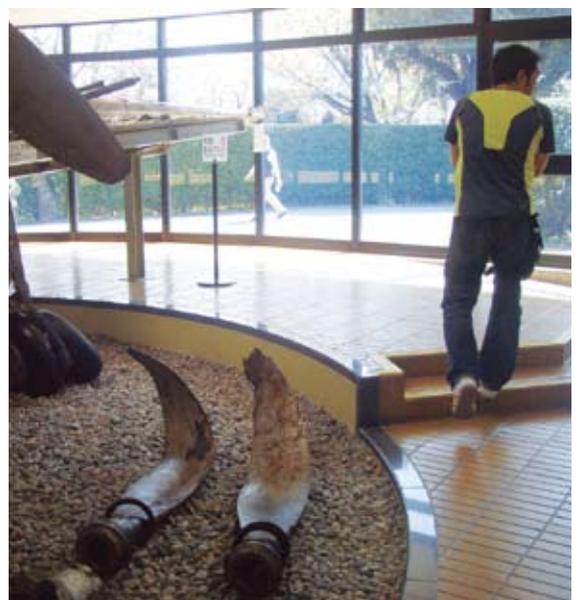
～審査の中で～

問 灯笼などを提供する基準は。

答 一つのイベントに3千個を限度に提供する。既に、竹灯笼などを製作しているイベントには、ろうそくを提供していく。

●武家屋敷西郷邸管理運営費

西郷邸庭園及び樹木管理、清掃管理委託、並びに隣接する土地の購入に要するものである。



バリアフリー化を目指す平和会館

～審査の中で～

問 購入する土地の面積及び活用方法は。

答 面積は、926㎡で活用については、今後検討していく。

●市制施行5周年事業費

南九州市市制施行5周年記念式典を、平成24年12月1日(土)に川辺文化会館で実施するもので、郷土芸能や市民歌唱、5年間の出来事DVD上映、フォトコンテスト展など。

●集会施設等整備事業費

自治会活動の拠点である。

●移住・定住促進対策事業費

本市は5年間で3千人あまり人口が減少しており、定住促進対策は喫緊の課題であり、住宅取得補助や市内の空屋情報を提供する空き屋バンク制度、新規学卒者のための企業見学や企業への働きかけ、出会い応援事業などに要するものである。

本市は5年間で3千人あまり人口が減少しており、定住促進対策は喫緊の課題であり、住宅取得補助や市内の空屋情報を提供する空き屋バンク制度、新規学卒者のための企業見学や企業への働きかけ、出会い応援事業などに要するものである。



更新が待たれる野崎班の消防車

心の豊かさ創造力を育む 教育・文化のまちづくり

◆文教厚生常任委員会の審査◆

福祉の充実

● はりきゅう等施術料助成事業費

市内に住所を有する60歳以上の者に対し1回当たり1,000円を年間25回を限度に助成するものである。

以上から60歳以上と拡充した理由は。

答 幅ひろく健康増進を図るため、対象者の年齢を引き下げた。

教育施設の充実

● 学校施設整備事業費

● 小学校施設管理費

8298万7千円



衛生管理が整っている給食センター

問 統合による維持管理経費の節減効果は。

答 施設が大きくなったことに伴い、ガス代が月140万円程度、電気代が月120万円程度となり、統合前22年度と比較すると、光熱水費・燃料費を合わせて約2000万円増加している。

問 統合による維持管理経費の節減効果は。

答 施設が大きくなったことに伴い、ガス代が月140万円程度、電気代が月120万円程度となり、統合前22年度と比較すると、光熱水費・燃料費を合わせて約2000万円増加している。

問 昨年建設されたてんぷん工場の悪臭が酷いという声があるが、調査したか。

答 昨年11月に気温の低下により匂いが強くなる夕方に臭気検査を実施した結果、特定悪臭物質22項目中、硫化水素、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸の3項目が県の公害防止条例の基準を超えている。また、人が匂いを強く感じる臭気指数を調査したところ、高い数値が出たことから、JAに改善の指導を行い改善計画が提出された。

問 設置に対する新たな補助額加算について

答 河川の水質保全には合併処理浄化槽の設置が有効と判断し、合併処理浄化槽への更新を促すため24年度から市単独の上乗せ助成を行う。

衛生環境の充実

● 環境保全公害対策費

住民からの苦情や公害防止に伴う水質、悪臭等の検査を実施する経費である。

～審査の中で～

● 給食センター管理運営費（一般経費）

2644万8千円

● 中学校施設管理費

3705万4千円

● スクールバス運行費

1357万2千円

● 宮脇小学校

64万7千円

● 川辺小学校

2億4571万2千円

● 松山小学校

1357万2千円

● 環境保全公害対策費

3705万4千円

● 清掃総務費（一般経費）

指宿広域市町村圏組合及び南薩地区衛生管理組合への負担金がある。



埋立容量 2.8万³（再生）+ 3.3万³（増設）

処分場は、最新の被覆型とし、安心安全な計画とします

工期 H23.5～H26.3（1期工事）
H26.4～H29.3（2期工事）

管理型処分場概要

安心・安全な食の提供と 未来を支える農業のまちづくり

◆産業建設常任委員会の審査◆

農林水産業の振興

●農業人材育成事業費

本市農業を担う人材の育成・確保を図るため、後継者、新規参入者に対し、農業後継者育成確保奨励金を交付するもので24年度から年額30万円を一括交付するものである。

〔審査の中で〕

問 青年就業給付金の給付要件は。

答 年齢が原則45歳未満で農地及び機械等を所有しており、本人が生産物を出荷し経営収支を通帳等で管理していること。

●茶流通拠点施設整備推進事業費

お茶振興法に沿った本市の茶業振興策を推進するための銘柄統一、茶流通拠点施設整備、品質向上及び消費拡大などの協議に要する経費である。

社会基盤の整備

●街路整備事業費

知覧本通り線の清流溝改修を計画的に行い、良好な景観形成と適正な維持管理を図る。

〔審査の中で〕

問 清流溝に設置する魚巢の工法は。

答 魚巢は、舗道部に設置し蓋板としてグレーチングを計画している。

委員から観光客の通行が多いことからグレーチング部分が履物等に支障を与えないよう安全な歩行を確保するようとの意見が出された。

●公共用地取得業務事業費

南薩縦貫道（知覧道路）の用地交渉経費及び用地費・補償費である。

●公園管理費

馬事公苑の維持管理、二松台公園のプール埋設及び駐車場整備に要する経費とグラウンドがドクターヘリの離着陸場所に指定されたことから救急車の進入路の舗装工事などに要する経費である。

見が出された。



ドクターヘリの離着陸場所に指定された二松台公園入口

●道路維持費

市道及び県から管理事務移譲された知覧地域の国・県道の維持管理に要する経費で新規に乗用大型草払機の備品購入が計上されている。

お茶の銘柄統一に 大きな第一歩

1日も早い銘柄統一を

〔審査の中で〕

委員から、銘柄統一にあたっては、品質の均一化が重要であり、品質向上に向けたお茶の管理と今後は行政が主導して茶農家の理解を得て統一を図るべきとの意見が出された。

〔審査の中で〕

委員から仮称知覧北インターは立体交差となるが、仮称知覧インターの立体交差についても県に強く要望するようとの意見が出された。

〔審査の中で〕

委員から、救急車が今

特別会計・企業会計

区分		H24予算額(千円)	H23予算額(千円)	増減額(千円)	増減率(%)	
特別会計	国民健康保険事業	6,559,000	6,181,000	378,000	6.1	
	後期高齢者医療	526,600	498,900	27,700	5.6	
	介護保険事業	4,408,000	4,307,000	101,000	2.3	
	簡易水道事業	526,600	427,400	99,200	23.2	
	農業集落排水事業	76,100	76,100	0	0	
	公共下水道事業	195,400	203,200	△ 7,800	△ 3.8	
企業会計	水道事業	(収益的支出)	309,962	313,420	△ 3,458	△ 1.1
		(資本的支出)	149,727	346,801	△ 197,074	△ 56.8
総額		12,751,389	12,353,821	397,568	3.2	

特別会計の主な事業内容

国民健康保険事業は赤字で非常事態。
2024年市民の健康づくり!!

国民健康保険事業

● 一般被保険者療養給付費
35億2117万6千円
 医療費のうち自己負担額を除いた額を国保連合会を通じて保険医療機関に支払う給付費。

● 一般被保険者高額療養費
5億3269万7千円
 医療費の自己負担額のうち、自己負担限度額を超える額を支給するもの。

※国民健康保険事業特別会計は赤字財政のため一般会計から財源不足分の1億6539万7千円の繰入を行って補填している。

介護保険事業

● 居宅介護サービス給付費
12億600万円
 居宅介護サービス利用料の保険者負担分である9割を国保連合会へ支払うものである。

● 地域密着型介護サービス給付費
4億800万円
 地域密着型介護サービス利用料の保険者負担分である9割を国保連合会へ支払うものである。

● 施設介護サービス給付費
18億円
 施設介護サービス利用料の保険者負担分である9割を国保連合会へ支払うものである。

● 施設介護サービス給付費
18億円
 施設介護サービス利用料の保険者負担分である9割を国保連合会へ支払うものである。

簡易水道事業

● 施設管理費(一般経費)
7468万6千円
 水道水安定供給のため各施設の維持管理を図る経費。

● 建設改良費
2億4663万円
 安定した水道供給のために行う改良工事等の経費。

農業集落排水事業

● 知覧垂水維持管理費
323万1千円
 知覧垂水浄化センターの維持管理費など。

● 川辺東部維持管理費
814万5千円
 川辺東部農業集落排水処理場の維持管理費など。

● 知覧垂水維持管理費
323万1千円
 知覧垂水浄化センターの維持管理費など。

● 知覧垂水維持管理費
323万1千円
 知覧垂水浄化センターの維持管理費など。

水道事業

● 源水及び浄水費
6034万9千円
 取水、浄水、送水等の維持に係る経費。

● 配水及び給水費
2837万2千円
 配水池、配水管、中継ポンプ等の維持管理費。

公共下水道事業

● 浄化センター維持管理費
2176万2千円
 知覧中央浄化センターの維持管理委託料など。



川辺東部農業集落排水処理場

学校施設環境改善交付金 事業費など6億2,755万円

財政調整基金・学校整備積立基金など総額6億2755万円を補正しました。主なものは次のとおりです。

総務費

●電算費（一般経費）

△1057万7千円

電算機器等のシステムリース料の執行額確定見込により使用料などを減額するものである。

衛生費

●清掃総務費（一般経費）

7447万7千円

一部事務組合の決算額

確定により負担金を減額するものである。

民生費

●子ども手当支給事業費

△2億9043万1千円

平成23年10月からの法改正により扶助費などを減額するものである。

農林水産業費

●県営土地改良事業費

4493万5千円

県営畑地帯総合整備事業の穎娃中部西1期及びび2期地区の事業費の増額により負担金を増額するものである。

商工費

●商工総務費（一般経費）

△835万4千円

商工振興資金利子補給事業の借入額確定により補助金を減額するものである。

土木費

●急傾斜地崩壊対策事業費

△420万円

県単急傾斜地崩壊対策事業の上出2地区の登記事務が難航し、一部工事に着手できなかったため工事請負費を減額するものである。

教育費

●学校施設環境改善交付金事業費（神殿小学校）

2億4137万8千円

平成24年度実施予定の耐震化事業が国の23年度3次補正予算に採択されたことによる工事請負費などが主なものである。

災害復旧費

●災害復旧事業費

△137万9千円

農業用施設の事業費確

諸支出金

●財政調整基金費

3億円

市財政の健全な運営に資するため積立金を増額するものである。

●学校整備積立基金費

2億1257万3千円

学校の整備を図るため積立金を増額するものである。



県営畑かん事業により整備される農道



耐震化事業が行われる神殿小

23年度 3月補正

一般会計

特別会計

国民健康保険事業

● 一般被保険者療養給付費
988万2千円

● 一般被保険者の療養給付費に不足が見込まれるため増額するものである。

介護保険事業

△ 6222万円

● 地域密着型介護サービス利用等が当初見込みより少ないための減額。

簡易水道事業

△ 531万3千円

● 事業費の確定に伴う経費の減額。

公共下水道事業

14万6千円

● 一般会計からの繰入金金の増額。

人

事

案

件

◆ 選挙管理委員 ◆

※議長指名による指名推選

◆ 選挙管理委員補充員 ◆

任期 24年2月26日から28年2月25日まで

松尾 壽男 氏
長野 幸男 氏

穎娃町 別府
知覧町 塩屋

大迫 茂子 氏
吉永 正博 氏

穎娃町 別府
川辺町 小野

門園 博徳 氏
市坪 政昭 氏

知覧町 瀬世
知覧町 郡

石本 健一 氏
上野 睦郎 氏

川辺町 田部田
穎娃町 郡

◆ 人権擁護委員 ◆



高吉 敬 氏

穎娃町 牧之内

※任期は、市が議会の意見を求め法務大臣に推薦し法務大臣が委嘱した日から3年間です。

松山小学校校舎大規模改造工事請負契約の締結

● 工事請負者

田川・堀之内特定建設
工事共同企業体

● 代表者

南九州市知覧町 永里
5163番地

株式会社 田川組

● 工期

平成24年3月23日から
平成24年10月31日まで

● 請負金額

1億5592万5千円

職員の給与に関する条例改正 南九州市職員の給与に関する条例

鹿児島県への職員派遣に伴い、地域手当及び単身赴任手当の支給が見込まれることからこれらの規定を追加しました。
この条例は平成24年4月1日から施行されます。

報酬及び費用弁償等の改正 南九州市報酬及び費用弁償等に関する条例

地区内の医師会より、学校・幼稚園医等の報酬が、南さつま市と差違があるため均衡を図ってほしいとの要望を受け改正するものです。
この条例は平成24年4月1日から施行されます。

特別職の給料等減額

南九州市長及び副市長の給与等に関する条例
南九州市教育長の給与・勤務時間等に関する条例

財政の健全化の一環として、市長、副市長、教育長の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの給料月額を下記のとおり改正しました。

市長	744,300円（10%減額）
副市長	618,400円（5%減額）
教育長	594,600円（3%減額）

この条例は平成24年4月1日から施行されます。



高田校区公民館

地区(校区)公民館の休館日統一 南九州市公民館条例

市内全ての地区（校区）公民館の休館日を12月29日から翌年の1月3日、祝日、及び毎週日曜日に統一しました。また、社会教育法の一部改正により、これまで社会教育法で規定されていた公民館運営審議会委員の任命基準を、本条例で決めました。

この条例は平成24年4月1日から施行されます。

仏壇産業後継者の資金貸与額を拡充 南九州市仏壇産業後継者育成確保資金貸与条例

仏壇産業後継者育成制度における新規後継者への資金貸与額を月3万円から5万円に拡充するため改正しました。
この条例は平成24年4月1日から施行されます。

子ども医療費助成を拡充 南九州市子ども医療費助成条例

保護者の負担軽減を図るため、対象年齢を12歳未満から中学生までに引き上げ、名称を乳幼児医療費助成から子ども医療費助成に改正しました。
この条例は平成24年6月1日から施行されます。

図書館協議会委員の 任命規定を追加 南九州市図書館条例

図書館法の改正に伴い、これまで図書館法で規定されていた図書館協議会委員の任命基準を本条例で決めました。

この条例は平成24年4月1日から施行されます。

請願／採択

◎公的年金の改悪に反対する意見書提出をを求める請願

提出者：南九州市川辺町田部田2983番地1
全日本年金者組合 南九州支部
執行委員長 芝原 仁

政府は税と社会保障の一体改革の中で、平成12年度から14年度までマイナスの物価スライドを行わず、特例措置により年金額を据え置いたことで、本来の年金額より2.5%高い特例水準で支払われているとして、本年度から26年度までの3年間で年金額2.5%を引き下げる改正法案の撤回を国に対し働きかけることを請願する。

意見書

この法案が成立すれば、老齢年金受給者だけでなく障害年金及び遺族年金受給者の生活や地域経済に深刻な影響を及ぼすことが危惧され、年金受給者の生活を守る立場や地域経済を活性化する立場からも特例水準2.5%の引き下げを行わないよう強く要望する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

* * * *

◎TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の参加に反対する請願

提出者：南九州市川辺町下山田2276番地2
「住みよい南九州市を考える会」
代表 大倉野 由美子

TPPに参加することになれば、農林水産物輸入の完全自由化により農林水産省の試算では、米の生産は9割減少し、食料自給率は40%から13%へ低下するとされており、農林水産業や地域社会は壊滅的な打撃を受け、国土や環境も荒廃することが懸念され、特に本県及び本市においては農業をはじめ、暮らし全般に多大な影響を与える。現在求められることは食料を外国に委ねるのではなく、40%に満たない食料自給率を向上させる方向に踏み出すべきであり、TPPに参加しないよう国に対し働きかけることを要望する。

意見書

TPPに参加することになれば本市の基幹産業である農業が壊滅的な状況に陥るにとどまらず、医療、保健、労働等あらゆる分野に深刻な打撃を与えると考えることから、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)に参加しないよう強く要望する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

陳情／採択

◎川内原発増設計画の撤回などを求める陳情書

提出者：南九州市知覧町郡4740番地13
日高 四郎

東北地方太平洋沖地震とそれによる津波がもたらした福島第一原子力発電所事故において、放射性物質の拡散をはじめとする様々な問題が引き起こされており、原子力に頼らない社会を目指すべきであるという趣旨から、川内原発3号機増設計画への同意を白紙撤回すること。川内原発1・2号機の定期検査後の稼働については、安全対策が構築されるまで再開しないことを要請する。

意見書

- 手続きを凍結している川内原発3号機増設計画への同意を白紙撤回すること。
- 川内原発1・2号機の定期検査後の稼働については、抜本的な安全対策が構築されるまで再開しないこと。

提出先：鹿児島県知事

* * * *

◎陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島への移設反対を求める陳情書

提出者：南九州市知覧町郡4210番地83
赤崎 盛彦

西之表市及び3町(熊毛地域)の首長及び議会が反対を表明しているにもかかわらず、政府が米国と共同文書に「馬毛島が米軍の空母艦載機離着陸訓練の恒久的な施設として使用されることになる」と明記したことは、地元の意思を無視するものであり、また、訓練による騒音など環境に与える影響も懸念されるという趣旨から、馬毛島への移設について反対する。

意見書

政府におかれては、地元の意向を踏まえ、陸上空母離着陸訓練施設をはじめとする全ての米軍関連施設並びに自衛隊施設整備と併せた陸上空母離着陸訓練の馬毛島への移設計画を即時撤回するよう、強く要請する。

提出先：内閣総理大臣ほか関係機関

が聞きたい!

14人が
登壇

いっぱん質問



竹迫 毅 議員

蓮子 消防団は指宿地区消防組合と南薩地区消防組合に分割され、隣接地にも出場が許可されていない。今後、住民の貴重な生命、財産を守るための負託にどのように応えるつもりか。

市長 現在、隣接地でも火災発生時に管轄地域以外の分団への出動要請は



蓮子 幹夫 議員

消 防

消防団活動について

市長／今後協議をしていきたい

していないが、各方面隊各分団の出動要請は可能であると両消防組合に確認しており、市消防関係者による協議会の中で議題として協議をしていきたい。

国道226号道路整備について

市長／強く要望したい

蓮子 穎娃地域長崎自治会内の国道226号は非常に危険を感じる。現場診断等により様々な検討を行い、課題が見えたと思うが、道路管理者に対

照明施設

川辺小運動場への設置の必要性は

教育長／校区民の強い要望で設置

竹迫 当初予算の川辺小運動場の照明施設の必要性は。また、未設置の市内全校に照明施設を整備する考えは。

教育長 川辺小校区民の強い要望に応えたもの



消防団による火災訓練

して改善を強く要請する考えはないか。

市長 長崎自治会内の国道226号の歩道設置については、自治会からの要望書を県及び警察署に提出し、県は、24年度当初予算に調査設計費を計上予定であると聞いています。市としても、早期整備に向け県及び警察に強く要望していきたい。

市政のここ

大震災

東日本大震災の被災者受け入れ体制は

市長／研究をしていく

被災者に対する受け入れ体制を問う。また、定住促進にも繋がるのが想定されることから、放射能を懸念している被災者等の受け入れ体制を強化する考えはないか。

市長 地震で被害を受けた人や放射能による避難地域の住民を対象に、市



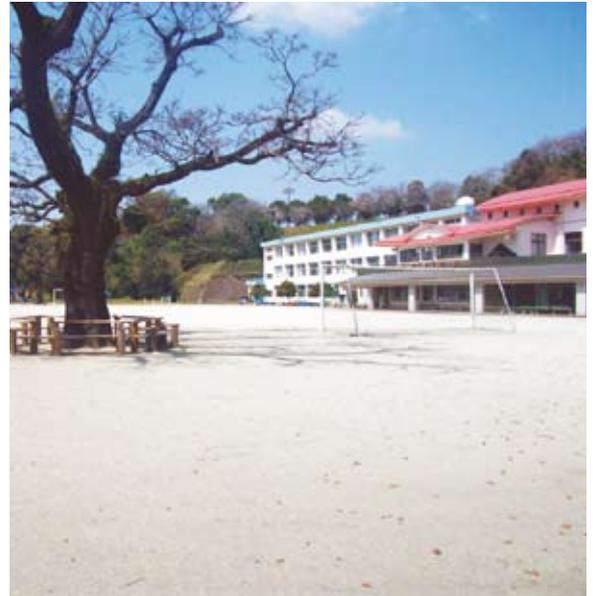
田畑浩一郎 議員

田畑 東日本大震災の被災者に対する受け入れ体制を問う。また、定住促進にも繋がるのが想定されることから、放射能を懸念している被災者等の受け入れ体制を強化する考えはないか。

また仕事が一番ですか



受入予定の市営住宅（御領）



照明施設が出来る川辺小

で、日本の平均寿命は世界トップクラスにあり、今後健康寿命を高めることが課題。教育委員会は「健やかスポーツ1000日運動」を推進しており、今後、市民がスポーツに親しむ条件整備に努めた

ないか。
教育長 諏訪運動公園の利用調整会議で検討したが無理であった。
竹迫 川辺は全校設置、**穎娃**、知覧は別府小だけ。市の一体化のためにも、このことを市民に周知し、**穎娃**、知覧より要望があれば、補正でも対応すべきと思うがどうか。
市長 バランスをとる意味でも**穎娃**、知覧から要

望があれば整備していきたい。
その他の質問
・旧町間を結ぶ市道の計画的整備

現況と対策を問う

市長／大規模な薬剤散布を行う



深町 幸子 議員

深町 ヤンバルトサカヤステが市内各地でまん延し、市民は薬剤散布と清掃に大変苦労しているが、現況と対策を問う。
市長 平成22年10月には新たに川辺地区に大発生が見られ、昨年末現在で生息地域は66地区、面積の約17%を占めている。大量発生した地域を中心に大規模な薬剤散布を行う。

事に着手している勝目交差点改修については用地交渉難航を理由に、平成22年3月議会において全

事業費を減額したが、現在国において一部事業に着手している。これまでの経緯を問う。
市長 国においてこれ以上の事業の延期が認められないということ、設計変更を行い本年2月に一部工事に着手し、平成24年度の完成予定である。

勝目交差点改修に

こうな

市長／一部工事に着手

深町 本年2月に一部工



市が7割補助している薬剤

幹線道路の整備方針と市民への周知は

市長／計画的に進め道路網図で周知したい

道路整備



西 次雄 議員

西 合併後4年経過したが、人と物の交流は進んでいない。人と物の交流を図る旧3町間を結ぶ幹線道路の整備方針と幹線道路の市民への周知が必要と考えるが対応を問う。



改良が進む幹線道路（柳地区）

市長 幹線道路の整備は、市内外の交流や市民の交流を図るために重要な整備であり計画的に進める。また、市民への周知は道路台帳統合整備事業が24年度に完了するので、幹線道路網図を作成し各自治会等へ周知したいと考えている。

し、2、600人余り減少しているが今後の対策と取り組みを問う。
市長 定住を進めるため企業誘致促進補助金制度を拡充し雇用の場の拡大を図り、医療費助成の対象を12歳未満から中学生まで引き上げることによる子育て支援、新卒者を対象にした企業見学会や結婚を希望する方を対象に出会いの場の提供など、あらゆる角度から多種多様な施策を展開したい。

今後の人口対策は

市長／多様な施策を展開したい

西 人口は合併前と比較

広域化の課題と 対策は

消
防

市長／期限を設けて統一
したい



満留 秀昭 議員

満留 消防広域化について、指宿市と2市での協議に入りたいとのことであるが、課題と対応策は。

市長 課題としては、本部位置と職員の身分の問題が考えられる。本市としては本部の位置にはこだわらず、消防署の設置、分遣所の充実を図りたい。職員の身分については、現在、知覧・川辺

分遣所の職員は市からの派遣方式、頼娃分遣所の職員はプロパー方式であり、合併時に統一するのではなく、職員の希望調査を行いながら、期限を設けて統一したい。

満留 各市（南九州市・南さつま市・枕崎市・指宿市）が単独で組合を組織し、デジタル化に伴う高額な費用を軽減するため、その設備と費用だ

けを共有する方法も考えられるが可能なのか。総務部長 単独での取り組みについては、消防広域化の主旨に反するものであり対応は考えられない。

※プロパー方式

消防組合職員として採用

その他の質問

・ 財政計画



指宿地区消防組合本部

武 道 必修化対策は

教育長／指導者の育成が図られている



菊永 忠行 議員

菊永 平成24年度から全国の中学校で武道必修化が実施されるが、本市の安全対策・指導者の確保、武道場及び用具などの整備状況を問う。

教育長 中学校では、新しい学習指導要領の全面实施となり、体育では、1・2年で武道が必修となり、3年では、球技・武道の中から選択することになる。

本市では、4校が柔道・1校が剣道を指導する計画である。指導については、基本的には体育の教師が行うことになり指導者の実技



必修科目の武道

その他の質問
・ インフルエンザ予防接種
・ 知覧平和公園の管理運営

講習は、平成21年度から実施され育成が図られている。指導に困難を来す場合は、地域など外部からお願いすることになる。

また、武道場、用具の整備については、昨年度から進めてきている。

お茶

銘柄統一の考えは

市長／仕上茶の流通拠点施設の整備と一体的に進める



塗木 弘幸 議員

所に集め販売することで銘柄統一もできると考える。

庁舎整備計画を示せ

市長／既存施設を活用していく

塗木 当初予算において、知覧庁舎耐震補強工

事設計及び実施設計の委託料が予算計上されるとともに、庁舎の在り方市民検討委員会も設置することとなっているが、庁舎整備をどのように計画する考えか。

市長 平成24年度から計画的に庁舎の耐震補強工事を行い、できるだけ既存施設を活用していく。庁舎の在り方市民検討委員会については、長期的な視野に立った将来の庁舎の在り方の方向性について検討していく。

塗木 基幹産業であるお茶は合併により生産量・生産額ともに日本一となっているがブランドの統一がなされておらず旧3町時代の銘柄で販売されている。茶業振興には銘柄統一が望まれるが、知覧茶銘柄使用には反対の声もある。これからの取り組みと方向性を問う。

市長 荒茶での出荷が大半を占めるため、銘柄統一については、付加価値の高い「仕上茶」での販売を視野に入れた、新たな流通拠点施設を整備し、市全体のお茶を一カ



出品茶の摘採

国民健康保険税引き下げを

市長／非常に難しい



内園知恵子 議員

内園 国民健康保険税は高すぎる。市民の命と健康・暮らしを守るため、引き下げる考えはないか。

市長 ひつ迫する国保財政は今後も続くと考えられることから、引き下げは、非常に難しい。

内園 滞納者は何名か。税務課長 1071名である。

内園 滞納額はいくら

か。税務課長 2億2332万4千円である。

内園 年200万円の低所得者(4人家族)で国保税はいくらか。税務課長 38万7千円である。

- ※試算条件
- ・ 家族4人(夫婦、子供2人)
 - ・ 夫婦共に40歳以上65歳未満
 - ・ 年間世帯所得200万円
 - ・ 固定資産税額6万円



この不足分は本来なら保険税で補う部分です。22年度にこの不足分を補うため基金を取り崩したり、お金を借りました。

敬老祝い金は訪問支給に支給を計画

内園 敬老祝い金は、現在、集会所等で支給されている。これを対象世帯に直接配布することはできないか。

市長 平成24年度においては、祝金支給は高齢者が集える機会でもあるこ

とから、これまでの支給方法を原則としながら、訪問による支給を希望する対象者については、事前に連絡いただくよう通知文に明記し、後日職員が自宅訪問し、支給する計画である。

その他の質問

- ・ TPP参加反対
- ・ 川内原発3号機増設計画反対
- ・ 交通安全対策

商工観光

イベントの意義と効果 及び今後の展開を問う

市長／今後も側面からサポート
していきたい



吉永 賢三 議員

吉永 川辺二日市、小京都ふるさと祭りなどのイベントの意義と効果を問う。

市長 イベントの種類ごとに違いはあるが、地域の歴史や伝統、文化の継承、人々の交流、地域情報の発信市民への娯楽提供、経済効果などが考えられる。

吉永 合併して4年経つが今後市全体で新たなイベントの取り組みや展開について問う。

市長 イベントの歴史的な背景やこれまでの実績、効果等を評価しながら、基本的には実行委員



にぎわう川辺二日市

会の判断になるが、このまま継続し関わりを続けていく考えである。

吉永 各イベントに対する市の関わり方を問う。

市長 合併協議を踏まえ、今までの3町の取り

組み形態を踏襲する形となっており、各団体からの補助金交付申請を受けて、効果的なイベントであるか検証を行い主催団体に交付している。イベントごとの運営も実行委員会が中心となり独立すべきである。今後も側面からサポートしていきたい。

その他の質問
・観光振興

産業の振興について

市長／業界の動向をみながら検討



亀甲 俊博 議員

亀甲 今後さらに高い技術を持った職人集団を育成し、全国の寺や仏壇の修理等を行うことも仏壇産業の振興に繋がると思うが、技術向上を支援する考えはないか。

市長 今後どのような支援ができるのか、仏壇組合など業界の動向をみながら検討を進めていきたい。



高い技術を誇る川辺仏壇

河川改修について

市長／県に要望している

亀甲 二級河川大谷川の大丸上井堰から上流は未改修のため、大雨のたび国道が通行止めになり、孤立する世帯もある。今後の改修計画を問う。

市長 井堰の管理者や地域と協議しながら河川改修が早期に実施できるように県に要望していく。

その他の質問

- ・共生・協働
- ・地域審議会
- ・校区公民館

導入の取り組みは

市長／新エネルギー導入促進を図る



松久保正毅 議員

松久保 福島原発事故は多大な被害をもたらせた。原子力から再生可能エネルギーへの転換は地方経済に大きなチャンスをもたらすことから、太陽光発電、風力発電、海洋発電、バイオマス発電など取り組む考えはないか。

市長 総合計画基本計画で新エネルギーの導入促

進を図ることになっており、住宅用太陽光発電導入支援事業補助金制度により住宅用太陽光発電システムの設置を支援している。市においては、新たな施設を整備する際に太陽光発電システムの設置を検討していきたい。

障害者の支援の強化施策は
市長／円滑なサービス移行体制の確保を図る

松久保 制度改正による新体系サービスへの移行のための支援を含めた各



知覧小の太陽光発電

種障害者支援の強化施策について、円滑に提供できるような体制の整備を図ると施政方針で表明しているが、具体的な内容を問う。

市長 障害福祉サービスを利用したい場合は、特定相談支援業者が作成するサービス利用計画案を勘案して支給決定を行う。障害児施設は一元化され、サービス移行体制の確保を図る。学齢期の障害児に対しては、日中一次支援事業の受け入れ先の確保に努める。

高齢者福祉

訪問給食サービス 受給者の拡充を

市長／現地調査の結果を踏まえ、柔軟に判断していきたい



山下つきみ 議員

山下 高齢者訪問給食サービスは、医療費の抑制と安否確認などの見守り効果も大きいと考えるが、受給資格などの見直しを行い拡充する考えはないか。

市長 旧3町で相違のあった1食当たりの単価、受給条件を統一したことで利用者が半減した地域もあったが、条件の一部緩和や現地調査の結果を踏まえ柔軟に判断し、現在利用者も増えている。今後も一定の条件を設け、真に必要な方に利用してもらおう事業として実施していきたいと思

その他の質問
・定住促進対策



高齢者訪問給食サービス

自主防災組織の育成強化は
市長／訓練・知識の研修等を啓発していく

山下 本市の組織率は、23年度に100%を達成しているが、地域によって活動等に差がある。組織の育成強化・活性化にどのように取り組むか。

市長 組織による平常時の防災訓練・知識の研修等を実施することで、災害時の被害を最小限に抑えることができる。組織結成後、訓練等を実施していない組織を優先的に行政嘱託員会などで呼びかけ、啓発用のチラシ等を作成し、多くの団体で実施していきたい。

蔵元 施政方針で茶業振興策を策定する協議会を設置するとあるが、タイムスケジュールと協議内容を示せ。

市長 昨年度制定された茶業振興法に基づき、品質向上の促進、加工流通の高度化、統一銘柄、消費拡大、お茶の文化創造など茶業振興方策を策定していく。農家所得の向上を図るためには、仕上



蔵元 慎一 議員

茶業

今後の振興方策は

市長／拠点施設の計画など3年間をめどに



茶業振興大会

蔵元 現在未婚や晩婚化が大きな社会現象になっ

少子化対策のため婚活支援等を行う考えは市長／24年度に、出合い応援事業を計画

げ茶率を高め流通の円滑化を目指す必要があることから、市、両J.A、生産者代表を中心に学識経験者等を交え拠点施設の計画から運営方法など3年間をめどに実施していく。

ているが、少子化対策のためにも婚活支援等の対策を行う考えはないか。

市長 地域に残る若者が減少してきたことや結婚に対する考え方の変化などにより男女の出会っ機会が少なくなっている。平成24年度に、出合い応援事業を計画し、イベント等で出合いの機会を創造していく。

その他の質問
・名誉市民条例

追跡 あの質問 提言はどうなった



設置された標高板

質問

永吉 義輝 前議員
平成23年6月定例会

津波対策は？

市長

標高板を設置し住民への周知を図る。

海岸線を中心に学校・施設等、幹線道路などに、117箇所の設置を行なった。

(平成24年2月から)

市の民の声



知覧町 郡
小園 萌

繋がる

私は今、川辺の電気屋に勤めています。働き始めて数カ月、一番驚いたことはパソコン・インターネットの使用率です。勿論、市内ではほとんどの家が使われていると思いますが、少し地方に行った途端、パソコンを使いこなす人は限られてしまいます。特に高齢者の多いこの地方では、関心はあるものの、どうせ覚えられないからと突っぱねてしまう人が多いのです。中には「そんなもので何をやるの？別になくても困らないし」という人も多いのかもしれない。しかし、今やインターネットを通じてサービスは拡がり、気軽に誰でも繋がりがもてるようになりまし

医療福祉の場でも取り入れはじめたインターネットは、TV通話での診療やコミュニケーションに利用され、家に居ながらそのサービスを受けることができるようになりました。しかし、そのサービスはまだ限られた人しか受けることが出来ません。

パソコンだけではなく携帯やテレビ、タブレット等、インターネットが利用できる媒体は増え続けているというのに、それを利用せず放っておくことがどんなにもつたないことか！私がそう思っているだけなのかもしれない。それを使用しなせ！というのも無理な話です。ただ、それを使いこなすことで、そういったサービスを受けられたり、人との繋がりを拡げることができるのです。

まだまだ手軽にインターネットを使うには難しいところがあるのかもしれない。そこを市が、国が、しっかりとサポートすることで、誰もが気軽に繋がるようになれば私は思います。



頤娃町 郡
原之園 親男

生活環境と交通改善

南九州市に住んで18年目になります。

東側に開聞岳、前面に東シナ海、背後に大型台地をひかえ、人々はやさしく活気に満ちています。しかし、集落環境に目を向けると、広域農道から頤娃小学校、JRえい駅までの区間だけでも、大型車と行き交う児童らは命がけでガードレールに身を寄せる姿がありますし、一般歩行者も対向車も大変です。何とか安全が保てる道幅と路面を確保してほしい。

なお、「観光立市」を掲げる南九州市として玄関口となるJRえい駅のトイレ、照明、雨宿りの場所確保など全体を明るくできないかご検討いただきたい。

最近、JRで通う機会が多くなり、南九州市方面から鹿児島中央駅までの便数が少なくなっていることに不便を感じます。

指宿駅までは「なのはな号」「指宿のたまて箱」の利用客が多く活気に満ちているのに、当市方面へは直接に新幹線効果は感じられません。

今こそ英知を絞り、指宿から西方面への観光客の誘客と天下に誇れる観光地（瀬平、大野岳、白砂青松の高取海岸、矢越、松ヶ浦、大川釜蓋神社）などの浮上のためにも一層頑張っていたいだきたいと思

編集後記

田畑では、早期米の植え付けが始まり、本市の風物詩お茶の新芽が鮮やかに輝き春を感じる季節となりました。町のあちこちでは、新しい制服を身に着けて希望に満ちた子どもたちを目にし、心温まる思いです。

一方、昨年3月11日の東日本大震災による被害は甚大で、いまだに行方不明者が何千人もいる現

状であり、あらためて自然の怖さと、災害対策の大切さを感じさせられた。

議会としても今後さらに災害対策の充実を図り、市民の安心・安全を第一に考えなければならぬと思います。

また、市制5周年の年となりました。今後も地域住民の声が行政に反映するよう、議会としても努力してまいります。

(田畑)

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**6月12日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

▼広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 田畑浩一郎 |
| 副委員長 | 峯 勝 |
| 委員 | 亀甲 俊博 |
| 委員 | 下窪 一輝 |
| 委員 | 西 次雄 |
| 委員 | 吉永 賢三 |

